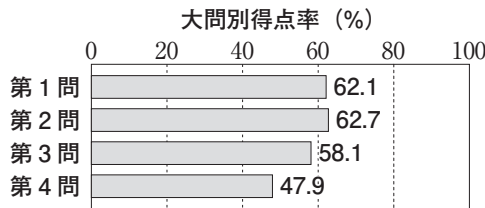
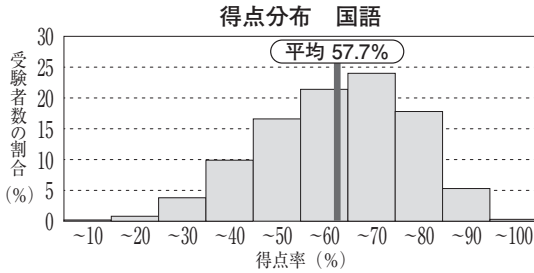


テストは受けた後が重要。しっかり復習し、夏休みに向け、重要知識を固め、勉強を着実に進めよう！

I. 全体講評

6月の「全国統一高校生テスト（高2生部門）」の国語の平均点は一一・五・四点（二〇〇点満点）であった。高2生の今の時点の成績としてはまずまずの結果であった。

ただし、漢文（第4問）については、得点率も5割を切り、もう一步の結果であった。理由説明



問題や趣旨の問題で点数を落としているが、漢文の場合は、現代文のように、書かれている内容の難しさによって、正解が選べないというものではない。説明問題と言っても、多くの場合、該当傍線部の前後を正しく解釈することができれば答えられるようなレベルである。と、いうことは、きちんと漢文を訳せなかったということである。確かに今の時期だと、まだ、漢文の勉強が進んでいないという高2生は少ない。しかし、だからこそ、この時期に漢文の勉強を進めておくことは、受験に於いて大きなアドバンテージなることは間違いない。このテストを受験した、意欲のある諸君には、ぜひ、ここから漢文の勉強もスタートしてもらいたい。

ちなみに、古文（第3問）も、重要古語と古典文法の力が読解力に大きな差をもたらす分野である。今回のテストの全体の得点率は悪くはなかったが、問2の文法問題（「せ」の識別問題）の正答率が、三五・五%と低調であったことからすると、まだまだ、古文をきちんと読みこなすための基礎力がついているとは言いがたい。今回で結果が出なかった諸君はもちろんだが、得点出来た諸君でも、重要古語・文法に自信が持てない場合は、これから夏に向けてしっかりと勉強して知識を積み重ねていこう。

現代文については、評論も小説も現段階としてはまずまずの結果であった。ただし、評論（第1問）では、問5、小説（第2問）では、問2については、誤答の選択肢の選択率が正答の選択肢の選択率を大きく超えていた。本文には出てくるが文脈的に今の話題でない、なんとなくもつともらしい表現や、傍線部にかかっていく部分に書かれていないことや、ズレられているそれらしい表現にひっかかっているようだ。設問箇所である傍線部と、その傍線に関係する部分をきちんとチェックしながら読むようにしよう。選択肢の内容は、そのチェックした部分と一致しているのか、丁寧に比較するようにし、本文に書かれていない、それらしい表現・もつともらしい表現に惑わされないようにしよう。

あと、高2生の今だからこそ着実に身につけていってもらいたいのが漢字や語句の意味などの知識である。これらの力は現代文を読むための土台となる力である。今回は第1問・第2問の間1は比較的よくできていたが、漢字については正解以外の全ての選択肢の漢字まで書けるようにしておく必要がある。語句の意味については、文中で出てくる自分が知らない語句については、辞書を引くなどして、出てくるたびに理解していくようにしましょう。

最後に。せっかく一日を使ってテストを受験したのであるから、これが学力アップにつながるければ非常にもったいない。しっかりと復習をしてもらいたい。このテストには、詳しい解説および解説授業がついている。有効に活用しよう。

II 学習アドバイス

◆現代文の解答プロセスを理解しよう。語彙についても地道に増やしていこう！ 古典分野は知識の習得が受験勉強のスタート！

現代文で得点が取れない人、安定しない人は、文章を読んで、設問に自分の感覚で答えている。それでは人それぞれ感覚は違うのだから、正解を選べるかどうかはわからないことになる。趣味で本を読む場合はそれで構わないが、試験で現代文を解く場合はそれではいけない。まずは基本的な読解法をしっかりと身につける努力をしてほしい。最低限、文中に書かれていないことを想像して選択肢を選ぶことはしてはいけない。文中の解答根拠を探し、それをもとに答えを選ぶ、ということ徹底しよう。面倒くさがらずに、ここに書いてあるから、これが正解（どこにも書いていないからこれは間違い）という解答プロセスのもと、解答を選ぶようにしよう。

また、現代文を理解するためには、その前提として語彙の力が重要である。漢字力はもちろんだが、重要な評論用語なども大学受験用の参考書・問題集もあるので利用しよう。また、知らない語句にであつたら、地道に辞書を引くようにし

て、語彙を増やしていくようにしよう。

古典分野は読解のためには、その土台となる知識を身につけることが必須である。これなくして、本格的な受験勉強はできないといってもよい。古文は重要古語・文法、漢文は重要漢字・句法を早めに身につけよう。もし、この夏に身につけることができれば、受験生として早めにスタートを切ることができ、圧倒的に有利になることは間違いない。